

サステナビリティ中期計画 Planet

企業ステートメント

クラレグループ行動規範

クラレグループ人権方針

トップステートメント

サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画

サステナビリティ長期ビジョン

サステナビリティ推進体制

サステナビリティ中期計画 3Pモデル

GHG排出削減目標の新たな設定と重点施策

サステナビリティ中期計画 Planet

サステナビリティ中期計画 Product

サステナビリティ中期計画 People

クラレグループのマテリアリティ

Planet

Product

People

ガバナンス

GRIスタンダード対照表
(内容索引)

クラレレポート（統合報

サステナビリティ長期ビジョン

サステナビリティ中期計画 3Pモデル

サステナビリティ中期計画 Planet

サステナビリティ中期計画 People

サステナビリティ推進体制

GHG排出削減目標の新たな設定と重点
施策

新

サステナビリティ中期計画 Product

- 環境負荷低減 / GHG排出削減(Scope1&2)
- 環境負荷低減 / GHG排出削減(Scope3)
- 環境負荷低減 / 省エネ・廃棄物・水資源・化学物質
- 気候変動への取り組み(TCFD)
- これまでの活動実績

環境負荷低減 / GHG排出削減（Scope1&2）

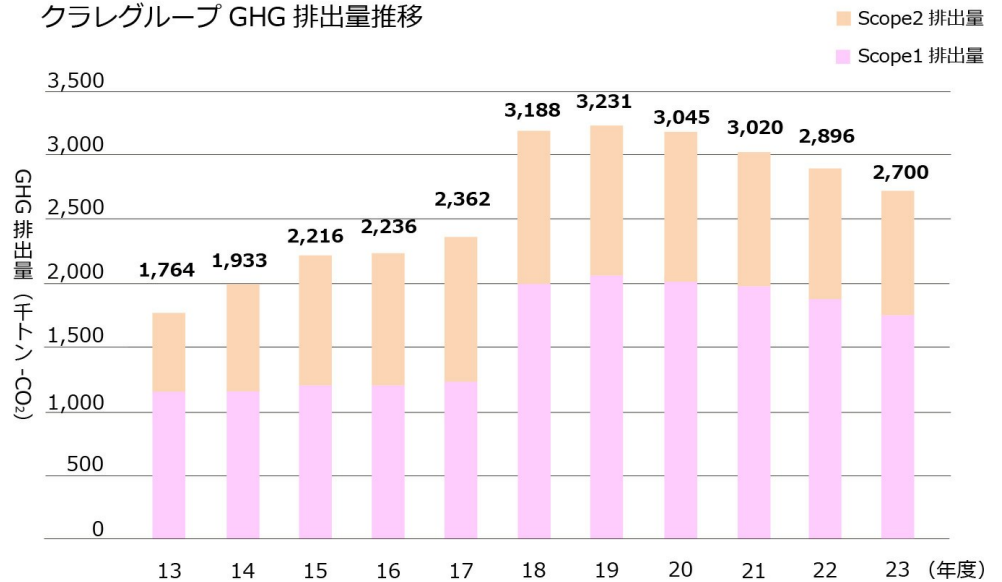
> 環境負荷低減/GHG排出削減の新たな目標はこちら

2023年の実績として、海外グループ会社での分離型エネルギー属性証明書(再エネ証書)の購入による電力のグリーン化を進めました。また、年後半の需要低迷を受け国内外で生産量が減少したことにより、GHG排出量は大きく減少しました。

米国で石炭系活性炭の製造時に副生物として発生するCO₂の回収、有効利用、貯留に対し組織横断型のプロジェクトチームを編成し、コーポレートプロジェクトとして開発を推進しています。2023年は、CO₂の回収設備について既に設置・稼働実績がある回収装置の中からカルゴン・カーボンの各工場の排出量に見合う規模の回収装置候補を選定しました。また、パールリバー工場周辺でのCO₂貯留プロジェクトをリスト化し米国インフレ抑制法（IRA）の適用可能性を含め選択肢の検討を進めました。

国内では2022年に賛同を表明していた「GX（グリーントランスフォーメーション）リーグ基本構想」に基づき2023年に発足したGXリーグへの参画を決定しました。GHG排出削減は自社だけで取り組みを加速するのは難しいことから産官学との外部連携も視野にGHG排出量削減目標の達成を進めます。

クラレグループ GHG 排出量推移



▶ 詳細はPlanet 地球温暖化防止 地球温暖化防止/GHG排出量と削減の取り組み

企業情報

会社概要
ごあいさつ
企業ステートメント
役員
組織図
沿革
主な受賞歴
主要グループ拠点
会社案内動画
テレビ番組動画
広告ギャラリー

製品情報

事業から探す
製品名から探す
キーワードから探す
製品のはてな

研究開発

基本方針
技術と製品
組織・体制
歴史
トピックス

サステナビリティ

企業ステートメント
クラレグループ行動規範
クラレグループ人権方針
トップステートメント
サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画
クラレグループのマテリアリティ
Planet
Product
People
ガバナンス
GRIスタンダード対照表（内容索引）
クラレレポート（統合報告書） / サステナビリティウェブサイト
ランドセルは海を越えて
イニシアティブ

投資家情報

経営方針
IRニュース
クラレって？
業績・財務情報
IRライブラリー
株式情報
IRカレンダー
よくあるご質問